



川崎市みどりの事業所推進協議会50周年記念誌

50年のあゆみ

「事業所緑化」(令和4年度活動記録)合併号



川崎市みどりの事業所推進協議会

令和5年4月28日

川崎市みどりの事業所推進協議会50周年記念誌

「事業所緑化」(令和4年度活動記録) 合併号

目次

「50年のあゆみ」発刊によせて 会長 JFEスチール株式会社東日本製鉄所(京浜地区) 総務部長 阪本 岳郎	2
お祝いのことば 川崎市長 福田 紀彦	3
50周年記念事業	
記念式典	4
記念式典 祝賀会	5
記念植樹 記念品	6
特別寄稿	
50周年を迎えて	
JFEスチール株式会社東日本製鉄所(京浜地区)	7
味の素株式会社川崎事業所	8
株式会社レゾナック基礎化学品事業部川崎事業所	9
株式会社東芝小向事業所	10
富士通株式会社川崎工場	11
川崎市みどりの事業所推進協議会50年の歴史	12~15
協議会の歩み(平成24年度~令和3年度)	
累計植樹本数100万本達成	16
全国都市緑化かわさきフェア開催	17
緑化率の推移・協定事業所数の推移	18
会員事業所マップ	19~20
会員事業所の緑の風景	21~23
事業所の取組	
株式会社朝日プリンテック川崎工場	24
ENEOS株式会社川崎製油所	25
花王株式会社川崎工場	26
「事業所緑化」(令和4年度活動記録)	
協議会の活動(令和4年度)	27~28
川崎市からのお知らせ	29~30
編集後記	31

更なる「みどり」ある豊かな地域・ まちづくりの推進を

川崎市みどりの事業所推進協議会会長

JFEスチール株式会社東日本製鉄所(京浜地区)

総務部長 阪本 岳郎



平素より「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動に御理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。「川崎市みどりの事業所推進協議会」は50周年を迎えました。ひとえに川崎市をはじめ、加盟事業所皆様のご指導とご尽力の賜物と改めて厚く御礼を申し上げます。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」は昭和47年に「川崎市工場緑化推進協議会」として設置されて以降、川崎市と事業所の官民が一体となり、協働で緑化活動と緑化意識の向上に取り組み、発足当時3.6%であった緑化率が、現在では10%を超え、緑地面積も約38.35haから約148.4haに拡大しました。

また、我々、川崎市みどりの事業所推進協議会、川崎市の様々な取り組みを積極的に参画・展開し、「みどり」による安らぎある、まちづくりに大きな役割を果たし、都市緑化の推進の一翼を担う事業所緑化に邁進してまいりました。

「みどり」は心理的に人に安らぎを与え、人は身近に「みどり」が無いと、その行動範囲を広げてでも「みどり」を求めて出かける傾向があるとの研究結果を耳にしたことがあります。人は無意識のうちに求めているのかもしれませんが。

事業所の緑化はSDGs達成の為にも、大きな役割を担っています。官民が一体となり緑化を進めることは、地域に住む方々の暮らしを豊かにするだけでなく、地球規模での豊かさを実現し、後世に引き継ぐ、大変重要な意義を持っています。今後も当協議会に加盟する事業所が一丸となって緑化活動を実施し、地域の活性化を図っていきたいと考えています。

また、川崎市が市制100周年の節目を迎える令和6年度に全国都市緑化かわさきフェアが開催されます。当協議会も、「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」の一員として、積極的に参画して参りたいと考えておりますので、会員事業所のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、「最幸のまち かわさき」を目指し「みどり」ある豊かな地域づくり、まちづくりの推進に、皆様とともに取り組んで参りたいと思いますので、引き続きの関係者各位のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「最幸のまち かわさき」をめざして

川崎市長 福田 紀彦



「川崎市みどりの事業所推進協議会」の加盟事業所の皆様におかれましては、平素より市政に対し御理解、御協力をいただきますとともに、本市の発展に多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年、貴協議会が設立50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げますとともに、長年にわたり、みどり豊かなまちづくりに対する御尽力に対し、深く感謝を申し上げます。

さて、貴協議会の50年間を振り返りますと、設立当時3.6%であった事業所敷地内の緑化率が、現在では10%を超え、約148haもの広大な緑地面積となり、本市のみどり豊かなまちづくりに大きく貢献いただいております。

一方で、本市に目を向けますと、人口増加や経済の発展の陰で、市街化により多くの自然が失われ、それをいかに回復していくのか苦心しながら取組を推進してきた50年であったと思います。

本市では、令和6年の市制100周年をひかえ、象徴的事業である全国都市緑化かわさきフェアに向けた取組をはじめ、皆様との協働・共創により、市全体で「多様で多彩なアクション」を生み出し、次の100年に向けた取組につなげてまいりたいと考えており、これを契機として緑政事業に関しましては、一度立ち返り、これまでの「緑の量」を求める段階から「緑の価値」にも目を向け、事業所や市民の皆様と一緒に、みどり豊かで魅力的なまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

また、本市におきましては、市民生活を豊かにする環境づくりとして、地球温暖化がますます深刻化する中で、市民や事業者の皆様と協働しながら、環境先進都市として本市がこれまでに培った技術を活かし、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なまちづくりを進めております。今後も様々な主体と力を合わせて、市民の皆様の貴重な財産である緑や水の自然環境を守り、次世代へ継承する取組を行ってまいります。

次の100年に向け、豊かな環境をつないでいくためには、皆様の事業所の緑化推進の取組と本市との連携の重要性は、今後ますます高まってまいります。引き続き、本市の緑政行政への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記念式典

記念式典 次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 祝辞
- 4 目録贈呈
- 5 感謝状贈呈
- 6 協議会のこれまでのあゆみ
- 7 記念講演



テーマ 「活かさないと、もったいない。
“今ここにある緑地”を“未来の企業価値を生む緑地”へ」

講師 MS&ADホールディングス 総合企画部 サステナビリティ推進室 課長
三井住友海上 経営企画部 サステナビリティ推進チーム 課長
浦嶋 裕子 氏

8 記念撮影



令和4年11月25日(金)、川崎日航ホテルにおいて、午後3時30分から、当協議会の設立50周年記念式典が開催されました。

当日は、年末でご多忙の折、福田川崎市長や宮村川崎市公園緑地協会理事長をはじめとする来賓や会員事業所など、約35名を超す方々に御出席いただきました。

記念式典は、阪本会長による挨拶に始まり、福田川崎市長による祝辞をいただくとともに、10月に渡田第1公園で行われた50周年記念植樹で植樹を行ったサトザクラ系のアマノガワについて阪本会長から目録の贈呈を行い、川崎市長から感謝状が授与されました。

また、河合緑政部長から、当協議会のこれまでの50年のあゆみを御報告いただくとともに、住友林業緑化株式会社田代氏から、富士電機株式会社川崎工場、日本電気株式会社玉川事業場及び富士通株式会社川崎工場のみどりを活かした取組事例の紹介や評価をいただきました。続いて行われた記念講演では、MS & ADホールディングス総合企画部サステナビリティ

推進室・三井住友海上経営企画部サステナビリティ推進チームの浦嶋氏から、「“いきもの”と“まち”との共生」をコンセプトにした自社の緑づくりの経験を踏まえ、「活かさないと、もったいない。“今そこにある緑地”を“未来の企業価値を生む緑地”へ」と題し、緑地が持つ価値や効果を都市インフラへの還元や生物多様性、地域貢献等の取組を御紹介いただくとともに、ESG経営の潮流の視点から、企業緑地の価値をどのように捉え、協議会として緑地をどのように活用していけばよいのか、御講演をいただきました。

記念式典を総括する形で、福田川崎市長からは、「せっかくある企業緑地同士の連携ネットワークを今後どのように次のステージにもっていくかがすごく大切である。」とのコメントをいただき、阪本会長の“これからはみどりの量から質が大切。本日の式典を契機として、緑地の持つ価値を可視化して、事業所毎の点の取組を協議会としての連携ネットワークによる面の取組を行っていき、協議会として、市のこれからの50年、100年に向けて尽力したい。”という言葉で記念式典を締めくくり、最後に、来賓の方々や出席者全員で記念撮影を行いました。

50周年記念事業

祝賀会

記念式典に続き、午後5時30分から祝賀会が開催されました。

会長事業所（JFEスチール株式会社東日本製鉄所（京浜地区））の吉田氏の司会の下、会計事業所（昭和電工株式会社川崎事業所（現株式会社レゾナック基礎化学品事業部川崎事業所））の宮嶋氏による乾杯の発声で始まり、来賓の福田建設緑政局長から、「全国都市緑化かわさきフェアを契機に、事業所との協働・共創により、川崎らしい都市の中のみどりの新たな価値を創出していきたいと考えており、この実現には、長年にわたり、本市との協働によりみどり豊かなまちづくりを推進してきた当協議会の協力なくしては、成し得ないものである。引き続き協力をお願いしたい。」との祝辞をいただきました。

その後、出席者各々の意見交換や、幹事会メンバー紹介などを経て、最後に、副会長事業所（味の素株式会社川崎事業所）の内山氏の挨拶により、閉会となりました。



50周年記念事業

記念植樹

令和4年10月15日(土)に、川崎区の渡田第1公園にて、設立50周年記念植樹が開催されました。当日は、市民150万本植樹運動植樹祭との合同開催となり、植樹祭の記念植樹後に、サトザクラ系のアマノガワ(バラ科/サクラ属)1本を、川崎市長や地元町内会の子供達と阪本会長をはじめ、会長事業所の吉田氏、副会長事業所の内山氏、会計事業所の宮嶋氏により、当協議会のこれからの発展と樹木の成長を祈って、公園内に植樹を行いました。



記念品

設立50周年記念品として、令和4年12月に、会員事業所あて観葉植物(「ベンジャミン」・「ガジュマル」・「セローム」からの選択制)を送付しました。



ベンジャミン



ガジュマル



セローム

「みどり豊かな自然と共生し、 環境にやさしい製鉄所を目指して」

JFEスチール株式会社東日本製鉄所(京浜地区)

「川崎市みどりの事業所推進協議会」が50周年を迎えました。心よりお祝いを申し上げます。

50周年を迎えたことは川崎市、加盟事業所皆様と一体となった取り組みを積極的に行ってきた賜物だと思っております。

我々が加盟する「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動は、事業所の緑化を中心に、「みどり」による安らぎのあるまちづくりに大きな役割を果たしてきたと自負しています。

昭和47年に「川崎市工場緑化推進協議会」として設置されて以降、川崎市と事業所の官民が一体となり、協働で緑化活動と緑化意識の向上に取り組み、発足当時3.5%であった緑化率が、現在では10%を越え、緑地面積も約1,081haから1,389haに拡大するなど、都市緑化推進の一翼を担う事業所緑化に努めてきました。

事業所の緑化はSDGs達成の為にも、大きな役割を担っており、官民が一体となり緑化を進めることは、地域に住む方々の暮らしを豊かにするだけでなく、地球規模での豊かさを実現し後世に引き継ぐ、大変重要な意義を持っています。当社は今後も、積極的な緑化活動を実施し地域活性化に繋げて参ります。

また、川崎市が市制100周年の節目を迎える令和6年度に全国都市緑化フェアが開催されます。実行委員会の一員として、実のあるフェアの実現に向け、積極的に参画して参りたいと考えております。引き続き、会員事業所みなさまのご指導をお願いいたします。

当社、JFE株式会社東日本製鉄所(京浜地区)は、明治45年の創業から今年で、110年を迎えます。また、川崎市と横浜市にまたがる京浜工業地帯の沖合に浮かぶ「扇島」も稼働以来46年が経過し、当社の主要生産拠点として、高品質、高歩留まりを維持しつつ徹底した環境保全、省力化、省エネルギー化を実現としています。

扇島は都市型製鉄所の先駆けとして、周囲の環境にマッチした地球と環境に優しい“海に浮かぶ緑の製鉄所”をフレーズに、日々の植栽にたゆまぬ努力を続けており、約80万本の木が植えられ、緑化面積は敷地の約15%(横浜・山下公園の約12倍の面積に相当)を占めています。扇島大橋から望む東西一号線沿線の植栽、その右手の一画には中央事務所に隣接する“ふれあいの池”があります。

この“ふれあいの池”の緑地帯は、ヒマラヤスギ林やトウカエデ林、マテバシイ林等の常緑広葉樹林に囲まれ、約80種の植物が生い茂り、そして多くの野鳥が生息しています。カルガモ、カワセミ、ウグイス、メジロなどが年間を通して棲んでいます。このように植物や鳥類の種が多いということは、まとまった緑地の面積が広く多様な植物が生育していたことが、そうした植物の葉や実、蜜等を利用する鳥類、昆虫類、小動物などの生息地として適した環境となっているからであると考えております。今後も、働く人々はもとより、地域の人々に親しまれ、そして、来訪される方々の心を和ませられるよう努力していきたいと思っております。引き続き、環境・緑化に対しますご示唆をいただければ幸いです。



多くの植物、野鳥・生物が生息する扇島地区ふれあい池

「事業所の緑地を通じたASVの実現」

味の素株式会社川崎事業所

この度は、川崎市みどりの事業所推進協議会設立50周年おめでとうございます。

味の素株式会社川崎事業所（以下、川崎事業所）は1914年（大正3年）川崎工場として操業開始しました。現在では、工場に加えて研究・開発、物流、本社機能、グループ会社など、複数の機能が集積した味の素グループ最大規模の拠点の一つです。敷地面積は約36万㎡あり、その中に約4万㎡の緑地があります。これらの緑地は、従業員のリフレッシュやパフォーマンス向上、しいては地域の皆さまにも役立つものとして位置付けています。

川崎事業所エリアには約4,000人の従業員が働いています。きれいに整備された樹木や花木を見ることで気分がリフレッシュし、仕事のパフォーマンス向上に役立っていると感じています。一人ひとりの効果が、4,000人分積み上がると大きな力になります。事業所の敷地境界沿いにも大きな樹木などがあり、近隣にお住まいの住民の皆様や、多摩川沿いをウォーキングやジョギングされる人々が目にすることで、少しでも安らぎを感じて頂けると考えています。それが味の素グループ、そして川崎事業所への信頼感を抱くきっかけになると捉えています。

また、緑化取組みの一つとして「緑のカーテン」でゴーヤを育てています。川崎市と連携したゴーヤを使った「親子料理教室」に県民、市民の皆様幅広くご参加頂き、川崎事業所を身近に感じ、味の素グループのファン増加につなげています。

事業の変化と共に建物や緑地を含む周辺施設の配置が変化する中で、法令の基準値を永年にわたり守り続けることは一定の労力を要します。緑地の状況を定期報告することで、適正に法順守の義務を果たし、行政の皆さまと密な連携をさせて頂いております。

味の素グループの原点は、商品「味の素®」の製造・販売を通じて、日本人の栄養状態の改善という「社会価値」と、企業にとってのサステイナブルな利益循環という「経済価値」を同時に創出したことです。味の素グループは、その営みを追求し続けることで成長してきました。我々はこの取組みを「Ajinomoto group Shared Value(ASV)」と呼び、事業活動そのものと位置付けています。

川崎事業所の緑地を維持管理することで、従業員のパフォーマンス向上と住民の皆さまへ安らぎを提供すると同時に、企業のサステイナブルな利益を創出しています。まさしくASVであり、私達は、これからもこの取組みを推進していきます。



「緑を通じ、社会に貢献する事業所を目指して」

株式会社レゾナック基礎化学品事業部川崎事業所

この度は、「川崎市みどりの事業所推進協議会」の設立50周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

当事業所は1931年（昭和6年）、前身である昭和肥料(株)川崎工場が国産技術初のアンモニア工業生産に成功して以来、ここ川崎臨海部で化学プラントによる生産活動を継続してきております。操業開始時から生産しているアンモニアは、その原料を時代の変化に応じて、石炭、石油、天然ガスから使用済みプラスチックへ転換しており、世界で唯一の商業規模でのプラスチック・ケミカル・リサイクルプラントとして低炭素社会の実現に貢献しています。

また、当社は、2023年1月より昭和電工マテリアルズ(旧日立化成)と統合し、株式会社レゾナックとして始動いたしました。統合新会社は、「化学の力で社会を変える」をパーパスとし、「共創型化学会社」を目指します。

当事業所内では、事業所緑化推進の一環として、サポートチームが先頭に立って花壇の植物の植え替えや整備、ゴーヤを中心とした川崎市みどりのカーテンづくりなどに力を入れています。みどりのカーテンづくりは、当社のサステナビリティ活動に貢献したことを表彰する「Resonac Pride Award」にもエントリーし、その活動をPRする予定です。

また、川崎市から寄贈された川崎発祥の桃「伝十郎桃」も花が咲き、実が生りました。実から採れた種を育てて、今では「伝十郎桃」の若木を育てています。サポートチームが進めるみどり活動を通して、色々な昆虫なども集まり小さな生態系が出来てきています。

これから先の未来に向かって、人と動植物が共存できる事業所にして行きたいと思います。



「緑でつながる人と生物、さらに継続的な貢献へ向けて」

株式会社東芝小向事業所

株式会社東芝 小向事業所は、1937年に前身の東京電気無線株式会社の部品工場として創立されました。その後、社名の変更などを経て、現在は株式会社東芝 研究開発センターと、東芝インフラシステムズ株式会社 小向事業所の拠点として、それぞれ東芝グループの研究開発、社会インフラ製品の開発・製造等を行っています。

約20万㎡の敷地面積で、その内約10%が緑地です。常緑樹だけではなく紅葉を楽しめる樹々や四季折々の花があり、従業員の楽しみになっています。



研究開発センター前の桜



東芝インフラシステムズ正門付近の緑地

また、弊事業所は生物多様性保全活動を推進しています。事業所から北に多摩川、北西2kmほどに夢見ヶ崎公園があり、それらを生物が行き来できる生態系ネットワークの構築を目指しています。事業所内には、蝶が多く見られるエリアや、セミの抜け殻をたくさん確認できる樹木などがあり、みどりを整備することで生き物の多様性にも貢献を図っていきたいと思います。



事業所内で観察された生物の写真(キアゲハ、セミの抜け殻)

さらに、ここ10年では、“緑のカーテン活動”を積極的に実施しています。川崎市からも種などをいただき、ゴーヤを主体とした緑のカーテンを事業所内の数か所で展開しています。本取り組みでは、従業員参加型行事として、苗植え会や収穫祭、そして食堂でのゴーヤメニューの提供を実施しています。省エネ活動というだけでなく、この経験を通して従業員が緑の大切さを実感できる活動になっています。

現在、事業所内で研究開発新棟(仮称)を建設中です。2024年の完成を目指しており、建物周囲の緑地を再整備する計画となっています。従来からの緑地と共に、川崎市における“みどりの事業所推進活動”に貢献していけるように取り組んでまいります。



緑のカーテン活動

「未来社会に向けた、里山保全および緑化の推進」

富士通株式会社川崎工場

「川崎市みどりの事業所推進協議会」が発足50周年の節目を迎えられ、ここに記念誌を刊行されますことを心からお祝い申し上げます。

川崎工場は、富士通発祥の地であり、初代社長の「公園式工場にする」との方針のもと、1938年にこの地に誕生しました。都市化が進む中、現在もその意志を継承して緑豊かな前庭と池を維持し、工場内には樹齢200年以上のクスノキの大木をはじめ、歴史を刻んだ古い樹木、小動物や鳥など多種多様な生物が生息する貴重な緑地空間となっています。

歴史を顧みると、1988年の20階建の大規模な新棟建設工事の際も、約600本の樹木や池の鯉を、一時退避のうえ工事完了後に再移設して、元の緑あふれる庭園に戻すことを実現しました。この工事の際、新たに滝やせせらぎ、散歩のできる遊歩道などを配置し、来訪者や社員の癒しの空間づくりを行っております。また、桜の樹が約60本あり、春には綺麗な花を咲かせます。季節になると敷地を一般開放して、地域の方々にもお花見を楽しんでいただいております。

2012年度から川崎市様が保有する「栗木山王山特別緑地保全地区」において、緑地保全活動を開始しました。荒廃した緑地を整備し、健全な里山へ再生していくため、行政・企業連携で保全管理計画を策定し、企業の社内ボランティアを活用する取り組みを展開しております。2020年からは、コロナウイルス感染症拡大防止のため緑地維持に留めた活動としておりましたが、2022年11月に社内ボランティアの参加を再開しております。

これからも富士通川崎工場は、継承してきた貴重な都市部の緑地を維持すると共に、「栗木山王山特別緑地保全地区」における緑地保全の活動等、川崎市様や緑の事業所協議会のメンバーと協力して、持続可能で豊かな社会の実現を目指して環境活動を深化・発展させていきたいと考えております。



川崎市みどりの事業所推進協議会50年の歴史

年	会長	加盟数	総会	講演会・講習会	施設見学会
昭和47年度	日本鋼管株式会社	68社	10月設立 総会	11月22日 工場緑化の意義と緑化の手法 講師:東京農大教授 内山 正雄 氏 2月13日 樹木管理 講師:日本造園学会副会長 北村 信正 氏	12月6日 埼玉県植物見本園 川口市立グリーンセンター
昭和48年度	日本鋼管株式会社	68社	4月19日、20日 第1回 箱根ホテル おかだ	7月18日 緑化資源の流通と現況 講師:埼玉県立植物見本園 柴 芳夫 氏 10月16日 工場緑化のレイアウト 講師:東京大教授 本間 啓 氏 2月21日 植物の育成管理 講師:大船フラワーセンター 上野 敬一郎 氏	6月21日 出光興産株式会社 千葉製油所 東電株式会社 姉崎火力発電所 11月6日 県内工業団地 大船フラワーセンター
昭和51年度	味の素株式会社	103社	4月15日、16日 第4回 箱根吉野旅館	6月30日 樹木の繁殖方法No.1 講師:桜井 廉 氏 2月17日 樹木の繁殖方法No.2 講師:桜井 廉 氏	10月14日 国営武蔵丘陵森林公園
昭和56年度	東芝株式会社 堀川町工場	97社	4月9日、10日 第9回 熱海ホテル 池田	7月23日 樹木の夏の管理 講師:桜井 廉 氏 2月18日 花壇の作り方と鉢物の植え方 講師:川崎市緑化センター 山根 和夫 氏ほか	10月29日 神奈川県立 自然保護センター
昭和61年度	旭化成工業株式会社 川崎製造所	91社	4月17日、18日 第14回 箱根パークス 吉野	6月16日 樹木の育て方と管理について 講師:川崎市緑化センター 山根 和夫 氏ほか 10月28日 かながわ都市緑化 川崎フェアの見学	7月11日 神代植物公園 11月20日 浜松市農事法人日新園

川崎市みどりの事業所推進協議会50年の歴史

年	会長	加盟数	総会	講演会・講習会	施設見学会
平成3年度	日本石油化学株式会社 川崎事業所	86社	4月18日、19日 第19回 熱海岡本ホテル	7月6日 樹木の管理ごよみ 講師：川崎市緑化センター 田村係長ほか	7月7日 三菱重工株式会社 相模原製作所
				12月12日 鉢植えの手法について 講師：川崎市緑化センター 田村係長ほか	11月8日 東京ガス袖ヶ浦工場、 東京電力株式会社袖ヶ浦発電所
平成8年度	三菱自動車工業株式会社 東京自動車製作所	86社	4月11日、12日 第24回 熱海岡本ホテル	7月16日 病害虫の防除について 講師：川崎市緑化センター 及川係長ほか	10月29日 エムケーチーズ株式会社 綾瀬工場 秦野フェア会場
				12月12日 鉢植えの手法について 講師：川崎市緑化センター 及川係長ほか	
平成13年度	味の素株式会社 川崎工場	77社	4月18日 第29回 川崎グランドホテル	12月13日 鉢植えの手法について 講師：川崎市緑化センター 粕谷氏	10月25日 富士通株式会社 沼津工場
平成18年度	東京電力株式会社 西火力事業所 川崎火力発電所	65社	4月26日 第34回 川崎グランドホテル	4月26日 たわわに実る果実の森 講師：エコハウスガーデンデザイナー 芝 静代氏	10月13日 アサヒビール株式会社 神奈川工場
				12月19日 鉢植えの手法について 講師：川崎市緑化センター 本田氏	
平成23年度	旭化成ケミカルズ株式会社 川崎製造所	62社	4月19日 第39回 川崎グランドホテル	4月19日 ミツバチが教えてくれた緑のまちづくり 講師：NPO法人 銀座ミツバチプロジェクト 高安 和夫氏	10月7日 株式会社 ツムラ茨城工場
				11月25日 クリスマス用の寄せ植えづくり 講師：株式会社泉樹園 手塚 賀久氏	

川崎市みどりの事業所推進協議会50年の歴史

年	会長	加盟数	総会	講演会・講習会	施設見学会
平成24年度	東燃ゼネラル 石油 株式会社 川崎工場	55社	4月20日 第40回 川崎日航 ホテル	4月20日 川崎地域における生態系ネットワークの構築を目指して 講師：富士通株式会社 環境本部環境企画統括部 畠山 義彦氏 11月22日 クリスマス用の寄せ植えづくり 講師：株式会社泉樹園 手塚 賀久氏	10月12日 麒麟 ディスティラリー 株式会社 富士御殿場蒸留所
平成25年度	東燃ゼネラル 石油 株式会社 川崎工場	55社	4月25日 第41回 川崎日航 ホテル	4月25日 屋上・壁面緑化でつくるアイディア空間 ～屋上・壁面・特殊緑化技術コンクールの 入選作品を通して～ 講師：(公財)都市緑化機構 外崎 公知氏 11月15日 クリスマス用の寄せ植えづくり 講師：株式会社泉樹園 手塚 賀久氏	10月18日 アサヒビール 神奈川工場
平成26年度	JX日鉱日石 エネルギー 株式会社 川崎製造所	56社	4月25日 第42回 川崎日航 ホテル	4月25日 緑地の創造と維持管理の実例紹介 ～緑地の品質とリスク管理～ 講師：大島造園土木株式会社 柏木 秀公氏 11月15日 正月用寄せ植え(松竹梅 和風) 講師：株式会社泉樹園 手塚 賀久氏	10月17日 パナホーム株式会社 筑波工場
平成27年度	JX エネルギー 株式会社 川崎製造所	56社	4月22日 第43回 川崎日航 ホテル	4月22日 事業所の社会・環境等への貢献活動について 講師：(公財)都市緑化機構 上野 芳裕氏 11月19日 多肉植物寄せ植え 講師：株式会社泉樹園 手塚 賀久氏	10月16日 サントリービール 株式会社 利根川ビール工場
平成28年度	富士電機 株式会社 川崎工場	57社	4月21日 第44回 川崎日航 ホテル	4月21日 ミツバチがつなぐ地域社会 講師：神奈川県立川崎高等学校養蜂部 12月8日 クリスマス用の寄せ植えづくり 講師：株式会社泉樹園 手塚 賀久氏	11月18日 富士フィルム株式会社 富士宮工場

川崎市みどりの事業所推進協議会50年の歴史

年	会長	加盟数	総会	講演会・講習会	施設見学会
平成29年度	富士電機株式会社 川崎工場	57社	4月20日 第45回 川崎日航ホテル	4月20日 足元の自然をみつめる 講師:和光大学・かわ道楽 11月22日 正月用の寄せ植えづくり 講師:株式会社泉樹園 手塚 賀久氏	10月5日 株式会社小松製作所 小山工場
平成30年度	日本電気株式会社 玉川事業場	57社	4月19日 第46回 川崎日航ホテル	4月19日 ボランティア活動から広がる地域の輪 講師:東京農業大学・ボランティア部 11月29日 コケ玉の寄せ植えづくり 講師:株式会社泉樹園 手塚 賀久氏	10月4日 NEC プラットフォームズ株式会社 甲府事業所
令和元年度	日本電気株式会社 玉川事業場	55社	4月19日 第47回 川崎日航ホテル	4月19日 企業敷地を活用した生物多様性貢献 講師:慶応義塾大学名誉教授(特定非営利活動法人鶴見川流域ネットワーク代表理事) 岸 由二氏 11月28日 ハーバリウムづくり 講師:株式会社泉樹園 手塚 賀久氏	10月8日 麒麟ビール株式会社 横浜工場
令和2年度	三菱ふそうトラック・バス株式会社	53社	第48回 新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う書面開催	11月20日 クリスマス用の寄せ植えづくり 講師:川崎市緑化センター	11月20日 川崎市緑化センター
令和3年度	三菱ふそうトラック・バス株式会社	51社	第49回 新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う書面開催	1月21日 里山の保全について 講師:(公財)川崎市公園緑地協会 野牛氏ほか	1月21日 久末イノ木 特別緑地保全地区内